

平成29年度 生涯学習・社会教育関係職員研修講座 各地区会場

## 「上北地区研修」

平成29年5月25日(木) 会場名:七戸中央公民館 受講者数66名

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 各地区会場「上北地区研修」が、5月25日(木)七戸中央公民館において実施されました。

この地区研修は、県内6地区の地域課題の把握に努め、各地区のネットワーク形成及び課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人財育成を目的とした研修を実施することを趣旨としています。

上北地区では、『上北地方社会教育委員連絡協議会・社会教育関係職員研修会』として開催し、今年度は、七戸町教育委員会が事務局を担当しました。

講師には、新郷村川代地区振興会 顧問 小笠原 敏彦 氏 と 岩手大学 名誉教授 新妻 二男 氏 をお招きし、午前の部と午後の部をそれぞれ担当していただきました。

お二人の講義は、受講者のみなさんが時間を忘れるほど興味深く、しかもユーモアのある話術で、すっかり引き込まれてしまうものでした。また、テーマに沿って核心を突く鋭いキーワードは、しっかりと印象付けられたようで、感想からもそのことがうかがえました。

### 1. 【午前の部】「川代ブランド確立で心温まる地域へ」 講師：川代地区振興会 顧問 小笠原 敏彦 氏

川代地区は、かつて全戸がPTAに加入し、学校の環境整備や行事に参加するなどの住民交流をしていたけれど、小学校の閉校を機にそのPTA活動がなくなると、地域のコミュニティが希薄化することにもなりかねないということで「川代地区振興会」を設立したそうです。

かつての運動会を「スポーツ交流会」として小学校の校庭で開催し、校舎を「新郷村川代ものづくり学校」として「布草履やかごづくり教室」、「そば打ち体験」や「ハックルベリージャムづくり」など、体験学習施設としての機能を持たせながら、コミュニティ活動の拠点にもなっているとのことでした。

今後は、助成金に頼らず、自立できる振興会づくりを進めるため、地場産業の育成を通じて「地域ブランドの確立」と「高齢者の生きがいづくり」を目指していくというお話でした。

#### 【主な活動】

- ・多目的あずま屋整備 ・石臼製粉機導入 ・おいC-1まつり ・夏まつり ・郷土芸能 ・環境奉仕作業
- ・スポーツ交流会 ・新郷村ファン感謝デー など

#### 《講義の様子》



## 2. 【午後の部】「生涯学習を通じた地域づくり」

講師：岩手大学 名誉教授 新妻 二男 氏

現代、長寿の理由に「生涯学習に力を入れている」が含まれているというお話から始まりました。「公民館によく出かける」、「友だちがたくさんいる」、「ボランティア活動を続けている」、「80代、90代でも働く場所、働く意欲を持っている」などのように生涯学習と関連して『居場所がある』ということが長寿にもつながるといふ医学的研究のデータをもとにしながら話されました。

「生きがい」を日常の中で持てることが大切で、そこに社会教育に関わる重要性も含まれるとしています。人格を否定することから肯定するような環境づくりや人と人が共感できる関係を持てるような機会の拡充がそれで、「互いに違いを認め合うこと」、「存在を丸ごと認め合うこと」、「当てにする・当てにされる関係の確立」など、具体的場面を取り上げながらコーディネーターとなる社会教育関係者の必要性も話されました。

さらに、「子育て文化と子ども観」については、現代のスマートフォンに子守をさせる事案も挙げながら、「おんぶ」が子どもにとって“心(=脳)の安定”にもつながるもので、「乳母車」との違いから、『安心できる場所』がどれほど大事なのかもおっしゃっています。

今後期待されるのは、「ありのままの自分でいられる居場所」が、地域の中・家庭の中にもっと増えて欲しいということで、そのような地域づくり・家庭づくり、それを支援するのが社会教育だと考えて欲しいということでした。

究極をいうと『地域づくり』では、「人間関係をつくって欲しい。」ということで、安心して暮らせる場をつくって欲しいとのことです。公民館がその拠点になったり、社会教育がその手助けになったりすれば『安心できる場所』が保障されるというものでした。

### 《講義の様子》



#### 【概要】

- 長寿の理由 … 「今日、やることがある」という「生きがい」～ 生涯学習・社会教育との関わり
- 生きがい … 値打ち、効き目・効果、コミュニケーション  
⇒ 豊かな目標・目的の追求、共感・応答関係に包まれた存在感、評価能力
- 男女共同参画 … 制度や施策と生活現実とのギャップを認識し、それを課題として意識化すること
- 子育て文化と子ども観 … 家族(大人・親)の役割と責任、地域の役割と責任 ⇒ 「教育」から「共育」へ

## 3. 受講者の感想

- ・今後の社会教育の在り方を理解することができた。「聞き取る力」＝「社会教育」＝「人と人が関わる」という関係性をつくり、求められるものを提供できるように人財を地域で育てることが大事だと感じた。「ありのままの自分を出せる」事業展開をしていきたい。
- ・午前中の小笠原さんは、地域の活動の参考になりました。「背伸びをしない、無理をしない。」姿勢は重要なことだと思います。午後の新妻先生は、現代社会を様々な角度から話してくださり楽しく聞くことができました。問題が見えてくることで、必要な活動が具体的になり良かったです。
- ・社会教育委員の立場で、地域のみなさんと安心して暮らしていける居場所づくりの努力をしていきたいと思えます。